

いよいよ

サンゴもコウモリも あぶない!

緊急集会 「ストップ・ザ・新石垣空港!」

■でたらめなアセス補正を許すな!

沖縄県は9月8日にアセス評価書の補正作業を終え公告・縦覧、9月12日に空港設置許可申請を国交大臣宛に提出し、650人にもものぼる反対共有地主がいるなか、年内にも設置許可を得て事業着手を強行する構えです。

しかし今回沖縄県が国交（環境）大臣意見に基づき行ったアセス評価書の補正は、室内実験をしたくらいでほとんどが机上での修正や追加。事業日程を優先した補正で、小型コウモリ類の追加調査や空洞調査など時間のかかる作業はほとんど行わず、「保全に万全を期すこと」と述べられた大臣意見には程遠い内容になっています。「自然環境に配慮した空港をめざして」という沖縄県のスローガンがまさに口先だけということを露呈しました。

今後国交省がこのアセス評価書に基づき環境への影響を審査、また用地取得の確実性などについてもチェックして、空港設置許可を出すか出さないかを判断することになります。通常半年ほどかかると言われています。

■静岡空港反対運動から学ぶ

そこで私たちは国交省に対して、世界遺産的価値がある白保サンゴ礁や世界に八重山だけにしかない絶滅危ぐ種のコウモリ類を保全するため、このような「でたらめなアセスを認めるな!」そして「空港設置許可を出すな!」という運動を大きく広げていかなばなりません。

今回の集会では、「空港設置許可NO!」を強くアピールするとともに、新石垣空港を巡る最新情報や今後の展望についての緊急報告を行います。また今後の私たちの取り組む活動についても話し合いたいと思います。

そこで無駄な公共事業の典型とされる静岡空港計画に対して、当初より反対運動の先頭に立ってこられた島野房巳さんを招き、静岡空港におけるこれまでの取り組み、特に空港設置許可をめぐる闘いの成果や課題について語っていただき、設置許可阻止のためのこれからの私たちの活動に生かしていきたいと思ひます。ぜひ多くの皆さんの参加をお願いします。

■静岡空港建設問題

静岡空港は静岡県が県中部の島田市、榛原町に計画している第3種空港で滑走路2500m。09年春の開港をめざしているが、羽田や中部国際空港の間にあることから当初より過大な需要予測に疑問の声が強く、無駄な公共事業の典型とされている。

静岡空港反対運動はこれまで住民投票条例の制定や立木トラスト、空港設置許可取消訴訟などさまざまな運動を展開し、無駄な公共事業を強行する静岡県政を追いつめてきた。工事が進むいまでも予定地内には茶畑や山林を所有する反対農家4戸のほか約350人の共有地主、そして約1800人の立木所有者が存在し、オオタカの森を破壊し赤字が確実な空港計画の前に立ちはだかる。

これに対し静岡県は天下の悪法・土地収用法を発動し、この9月5日から500人の職員を動員して強制測量を強行、強権的に反対派の土地を取り上げ、何が何でも空港の完成をねらっている。

■日時 2005年10月2日（日）13時30分～17時（13時開場）

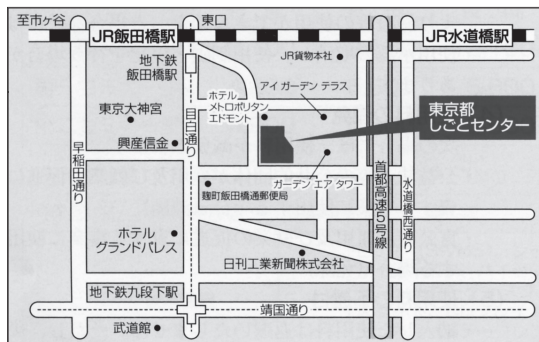
■場所 東京都しごとセンター5階第2セミナー室
（JR飯田橋駅、水道橋駅、地下鉄飯田橋駅各下車7分、03-5211-2310）

■講演 静岡空港反対運動の現場から
—空港設置許可阻止の闘いの成果と課題—
島野房巳さん（空港はいらない静岡県民の会共同代表）

■報告 新石垣空港の最新情報と今後の展望
生島 融さん（八重山・白保の海を守る会事務局長）

■資料代 500円

■問い合わせ 八重山・白保の海を守る会（03-3220-3529）



八重山・白保の海を守る会

東京都世田谷区上野毛2-23-30-102 TEL/FAX 03-3220-3529